

貸借対照表

2022年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	232,636,298
前払金	229,600
未収入金	1,405,450
前払費用	714,017
流動資産合計	234,985,365
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
三菱UFJ銀行 定期預金	18,500,000
三菱UFJ信託銀行 定期預金基本財産	106,520,000
基本財産合計	125,020,000
(2) 特定資産	
退職給付引当資産	4,317,970
IT関係対応特定資産	20,000,000
教育システム改定特定資産	50,000,000
特定資産合計	74,317,970
(3) その他固定資産	
什器備品	1,379,143
電話加入権	382,568
ソフトウェア	6,446,808
長期前払費用	0
その他固定資産合計	8,208,519
固定資産合計	207,546,489
資産合計	442,531,854
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	6,517,794
未払費用	62,672
前受金	52,100
預り金	210,926
仮受金	88,000
賞与引当金	932,000
未払消費税	1,648,600
流動負債合計	9,512,092
2. 固定負債	
退職給付引当金	4,317,970
固定負債合計	4,317,970
負債合計	13,830,062
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	125,020,000
(うち基本財産への充当額)	125,020,000
2. 一般正味財産	303,681,792
正味財産合計	428,701,792
負債及び正味財産合計	442,531,854

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、ソフトウェアともに、定額法による減価償却を実施しています。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当年度負担分を計上しています。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上しています。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によります。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	125,020,000			125,020,000
小 計	125,020,000			125,020,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,998,120	319,850		4,317,970
IT関係対応特定資産	20,000,000			20,000,000
教育システム改定特定資産	50,000,000			50,000,000
小 計	73,998,120	319,850		74,317,970
合 計	199,018,120	319,850		199,337,970

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債 に対応する 部分)
基本財産				
定期預金	125,020,000	125,020,000		
小 計	125,020,000	125,020,000		
特定資産				
退職給付引当資産	4,317,970			4,317,970
IT関係対応特定資産	20,000,000		20,000,000	
教育システム改定特定資産	50,000,000		50,000,000	
小 計	74,317,970		70,000,000	4,317,970
合 計	199,337,970	125,020,000	70,000,000	4,317,970

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累 計額	当期末残高
什器備品	3,984,632	2,605,489	1,379,143
ソフトウェア	17,455,900	11,009,092	6,446,808

5. 賞与引当金

(1) 引当金の計上基準

1. 重要な会計方針(2)に記載のとおりです。

(2) 増減の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	932,000	932,000	932,000		932,000

6. 退職給付引当金

(1) 引当金の計上基準

1. 重要な会計方針(2)に記載のとおりです。

(2) 増減の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,998,120	319,850			4,317,970

7. 事業実施資産

事業実施資産の内訳は下記の通りです。なお、退職給付引当資産及び固定資産の実施事業のための割合は25%としています。

(単位：円)

資産の名称	貸借対照表 価額	割合	事業実施資 産の価額
退職給付引当資産	4,317,970	25%	1,079,493
什器備品	1,379,143	25%	344,786
電話加入権	382,568	25%	95,642
ソフトウェア	6,446,808	25%	1,611,702
合計	12,526,489	25%	3,131,622

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

賞与引当金については、財務諸表に対する注記 5 及び、退職給付引当金については、同 6 に記載しているため、記載を省略する。